

科目区分	専門基礎分野	科目名	形態と機能Ⅱ (呼吸器、循環器、血液)	対象学生	第1学年
		単位数 (時間数)	1単位 (30H)	学 期	第1学期
担当講師	医師				
科目目標	1. 呼吸器系の構造と機能を理解する。 2. 循環器系、および血液の構造と機能を理解する。				
授業概要					
第1～7回 3章	呼吸器の構造:15H 1) 気道の構造 2) 肺の構造、胸膜・縦隔の構造 3) 呼吸筋の構造 呼吸の機能 1) 呼吸運動 2) 呼吸器量 3) ガス交換とガス運搬 4) 肺の循環と血流 5) 呼吸運動の調節		担当：医師 (講義)		
第8～14回 4章	循環器系の構造:15H 1) 心臓の構造 (冠循環 他) 2) 心臓の拍出機能、刺激伝導系 3) 末梢循環系の構造 (動脈・静脈・毛細血管、肺循環、体循環、門脈系 他) 4) 血液の循環と調節 (血圧、血液の循環、血圧血流の調整、微小循環 他) 5) リンパ管の構造と機能、リンパの循環 6) 胎児の血液循環 血液の構成成分と機能 1) 血液の成分 2) 血液の機能 3) 血漿タンパクと赤血球沈降速度 4) 血液の凝固と線維素溶解 5) 血液型 (ABO式、Rh式)		担当：医師 (講義)		
第15回	まとめ・終了試験				
看護師国家試験出題基準					
気道の構造と機能 (鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、発声)、肺の構造 (肺、胸腹腔、縦郭)、呼吸 (呼吸筋、換気、ガス交換、呼吸運動、呼吸調節)、心臓の構造と機能 (心臓、刺激伝導系、心機能調節)、血管系の構造と機能 (動脈、静脈、毛細血管、血圧と血圧調節、門脈系、肺循環と体循環、冠循環、脳循環、末梢循環の調節)、リンパ系の構造と機能 (リンパ液、リンパ管、リンパ節)、血液の成分と機能 (血液成分、血液の働き、血液の物理化学的特性、造血と造血因子)、止血機構 (血液凝固、線維素溶解)、血液型 (ABO式、Rh式、不規則抗体)					
授業の進め方					
模型や視聴覚教材を使用して各称や働きを確認する。					
履修のポイント・留意事項					
テキスト					
系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 目でみるからだのメカニズム 医学書院 系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院					
評価方法・配点					
授業への取り組み状況、終了試験にて総合的に評価する。					